

令和2年10月6日

がん診療連携拠点 病院
がん診療連携推進 病院
担当者 各位

アンケート調査へのご協力のお願い（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、私どもは、厚生労働科学研究費補助金・がん対策推進総合研究事業「精神障害者のがん診断と治療における課題を明らかにし、問題を解決するための連携を促進する体制構築を目指す研究」（研究責任者 稲垣正俊）として、精神障害者のがんの診断、治療およびケアにおける課題とその改善方法を明らかにするための研究に取り組んでおります。

平成30年度に、がん治療に関わる多職種のエキスパートの方にご協力頂いて質的調査を行い、精神障害者のがん診療の課題を広く抽出いたしました。この度、岡山大学との共同研究で、これらの課題を定量する質問紙調査（無記名、選択式）を島根県・岡山県の全がん診療連携拠点/推進病院を対象に実施させて頂きたいと存じます。本調査の結果は、精神障害者のがん治療における問題にわが国の施策として取り組む上での重要な資料となります。

つきましては、次項に研究概要とお願いしたい内容をまとめておりますので、研究協力につきましてご検討頂きたくご依頼申し上げます。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解賜り、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

島根大学医学部精神医学講座
教授 稲垣 正俊

研究事務局（問い合わせ先）
島根大学医学部附属病院 A8 病棟（精神科神経科）
看護師 江藤 剛
E-mail: etoh@med.shimane-u.ac.jp
TEL: 0853-20-2496（病棟）

精神障害患者の低いがん検診受診率を向上させる勧奨法の開発および標準的ながん治療・ケアへのアクセスを改善するための課題の把握と連携を促進する仕組みの構築(H30-がん対策-一般-006)

分担研究①

精神科臨床場面における多職種協働による効果的ながん検診の受診勧奨法の開発と効果を検証する研究

- ・ 無作為化比較試験を完了し、結果の解析中。

分担研究②

精神障害者のがん診断と治療における課題を明らかにし、問題を解決するための連携を促進する体制構築を目指す研究

- ・ 精神障害者はがんの死亡率が高く、がんの治療・ケアに格差があることが知られているが、わが国ではニーズや課題の検討すらされていない現状がある。そのため、重度精神障害患者のがん診断と治療におけるニーズと課題を把握するための調査を行う。

【アンケートの内容】

精神障害者のがん診療の課題に関する、無記名・選択式(5件法)のアンケート(回答時間は約10分)

【アンケートの対象者】

全がん診療拠点病院等(がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院)に所属する以下の医療従事者。

- ① **がん治療に関わる医師**:がん治療認定医またはがん薬物療法専門医の資格を有する医師。
- ② **緩和ケア医**:身体症状の緩和に関わる専従または専任医師。
- ③ **看護師**:次のいずれかの専門/認定看護師資格を持つ看護師:がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師。
- ④ **薬剤師**:次のいずれかの資格を有する薬剤師:日本医療薬学会がん専門薬剤師、日本医療薬学会がん指導薬剤師、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師、日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師、日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師。
- ⑤ **相談支援員(医療ソーシャルワーカー等)**:がん患者の相談支援に関わっている相談支援員(がん相談支援センターに配属されているスタッフ等)。

【今後の研究スケジュール】

- ・ アンケート郵送時期を10月上旬頃にお知らせします。
- ・ アンケート郵送は10月下旬を予定しております。各病院の担当者から、①-⑤の対象者にアンケートを配布頂く。対象者は、自由意思でアンケートに参加し、返信用封筒でアンケートを返送。
- ・ 11月中旬頃、リマインド案内状をお送りする予定です。各病院の担当者から、①-⑤の対象者にリマインド案内状を配布頂く。Webフォームからの回答も可となります。
- ・ アンケートの回答締め切りは12月上旬頃としています。

【研究組織】

研究責任者 島根大学精神医学講座 教授 稲垣正俊

研究代表者 岡山大学精神神経病態学教室 教授 山田了士

分担研究者:藤原雅樹(岡山大学)、田村研治(島根大学)、堀井茂男(慈圭病院)、児玉匡史(岡山県精神科医療センター)、内富庸介(国立がん研究センター)、藤森麻衣子(国立がん研究センター)、樋之津史郎(札幌医科大学)、宮路天平(東京大学)、江藤剛(島根大学)